

英語リーディングB Reading B

薬：K2-13121MY、生命：K2-13121MS

素養科目 1、2年／後期 1単位 選択科目

科目責任者 稲田 俊一郎(英語・言語学研究室)

授業担当者 **A組1班：長岡 真理子(非常勤講師)、A組2班：瀬戸川 順子(非常勤講師)、A組3班：稲田 俊一郎**
B組1班：松井 直樹(非常勤講師)、B組2班：岡部 了也(非常勤講師)、B組3班：長岡 真理子(非常勤講師)
C組1班：岡部 了也(非常勤講師)、C組2班：松井 直樹(非常勤講師)、C組3班：中野 里美(非常勤講師)
S組1班：杉本 悠(非常勤講師)

■教育目的(各クラス共通)

エッセイ、フィクション、時事問題、科学読み物、医療記事などの英文を読み、精読、速読、パラグラフリーディングなどを含む総合的な読解力をつけることを目的とする。【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、YD-④、YD-⑥、SD-①、SD-②、SD-③】

■学習到達目標(各クラス共通)

1. 様々な読み方の訓練を行い、状況に応じて使い分けられるようにする。(知識、技能)
2. 科学読み物、フィクションや時事問題に関するもの等を題材とし、様々な領域の英文を読みこなせるようになることを目指す。(知識、技能)

■授業内容

A組1班・B組3班 長岡 真理子(非常勤講師)

本講義は、英語の多様なトピックに触れながら、学術的・実践的な英語読解力の向上を目指します。段階的に構成された英文を読むことを通して、語彙力、読解ストラテジー、批判的思考力を身につけるとともに、自らの考えを英語で表現する基礎的能力を養うことを目的とします。

[No.1] Course guidance /リーディング教材

[No.2-3] Chapter 3 Technology competes with family time 技術の進歩が家族の時間を奪う

[No.4-5] Chapter 6 Loneliness: How can we overcome it? 人は孤独をどのように克服するのか?

[No.6-7] chapter 7 Solving crimes with modern technology 最新テクノロジーが犯罪を暴く

[No.8-9] Chapter 10 Saving lives with new organs 再生医療の今

[No.10-11] Chapter 11 Objects from space 宇宙から飛来する危険な物体

[No.12-14] 今学期の復習

[No.15] 期末課題に取り組む

準備学習(予習・復習)：予習:教科書の当該箇所の予習。トピックによってはその背景知識を得る。(30分以上)／復習:授業中に学習した内容及び語彙の確認(30分以上)

授業形態：グループワーク、講義

課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法：期末試験(90%)、小テスト(10%)で総合評価する。

教科書：「Reading Choice, New Edition - Skillsfor Academic Success」(ナショナルジオグラフィックラーニング/センゲージラーニング株式会社)979-8-214-17725-0

A組2班 瀬戸川 順子(非常勤講師)

今後、より専門的な文献の読解を要求されることを想定して、基本的理解力の充実を図る。下記テキストにより、幅広い分野のニュースに触れて、実際に使用される英語の表現の多様性や文化的背景に親しむ。文法事項を確認しながら精読するが、慣れたら次第に速度を上げたい。自分で調べる手間を惜しまないで、英和辞書を用意しておくこと。また、随時プリントを使用して速読を試みる。

[No.1] イントロダクション 概容説明 その他

[No.2-3] Chapter1 ポケモン

[No.4-5] Chapter2 視線の影響

[No.6-7] Chapter3 ヘルメット着用

[No.8-9] Chapter4 昼寝の効果

[No.10-11] Chapter5 コスプレ経済

[No.12-13] Chapter6 履歴書写真

[No.14] Chapter15 食品ロス対策

[No.15] まとめ

準備学習(予習・復習)：予習：各章のテーマに関して調べておく。／復習：論理の展開、新出単語やそれに関連した表現等を再確認する。

授業形態：講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：練習問題・単語テスト等で理解度を確認し、フィードバックを実施、期末試験(90%)、小テスト(10%)で総合評価する。

教科書：Insights 2026 村尾純子 他 金星堂 978-4-7647-4242-0

参考書：英和辞典（すでに所持しているものでよい）

その他：取り上げる項目は変更する可能性があります。

A 組 3 班 稲田 俊一郎

科学の必要性等の科学の進歩にまつわる素朴な疑問から、科学の法則の発見、科学者の裏話等の楽しい話題まで、アシモフが科学について語ったエッセイ集所収のいくつかの章を読解します。

[No.1] ガイダンス

[No.2-3] Learning Science (Ch.2)

[No.4-5] Science and Technology (Ch3)

[No.6-7] Self-correcting (Ch4)

[No.8-9] Moon Hoax (Ch8)

[No.10-11] The Race for Honor (ch10)

[No.12-13] Gold from the Sun (ch12)

[No.14-15] これまでの復習

※テキストの取り上げる章は場合に応じて変更することがある。

準備学習（予習・復習）：[予習] 毎回指定された範囲の英文を授業までに読解する。読解の際には、語彙や表現を辞書を用いて前もって調べ、疑問点があれば質問するための準備をしておく（60 分）

[復習] 授業の内容を踏まえて英文を読み直す（30 分）。

授業形態：課題解決型学習、グループワーク、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：・小テストや MY-CAST 課題で語彙・表現力を確認し随時フィードバックを行う。また、授業での解説を応答を通じて、全体的な読解力に関するフィードバックも行う。

・MY-CAST 課題提出(40 %)、期末試験(60 %)で総合的に評価する。

教科書：『Gold from the Sun』Isaac Asimov (金星堂)

B 組 1 班・C 組 2 班 松井 直樹(非常勤講師)

この授業の目的は“英語リーディング”という授業形態を通して、英文読解力・理解力の向上のみならず、筋道を立てて考えを構築する力、批判的に物事を考察する力を養うことにあります。科学技術関連のトピックを扱う BBC / Future ウェブサイトの記事をもとにして書かれた Innovation and Technology をテキストとして使用し、その英文を丁寧に読み進めながら、これらの能力を育成することになります。

授業は講義形式で進めることとなります。教員がパワーポイントで作成した資料を提示してテキストの英文や内容を解説します。学生は素早く、的確にノートをとる作業を行うこととなります。円滑な授業運営を行うために、毎回テキストの指定箇所に対して予習が課されます。

加えて、テキストの内容を超えた英語読解力や幅広い視野を養うために、事後学習では英字新聞・雑誌などを活用して学習することが求められます。

[NO.1] オリエンテーション／ Essay Writing

[NO.2] Unit 8 Computing at the Speed of Light: Supercomputers [1]

[NO.3] Unit 8 Computing at the Speed of Light: Supercomputers [2]

[NO.4] Unit 9 Space Travel on Earth: The 4,000 km/h Train [1]

[NO.5] Unit 9 Space Travel on Earth: The 4,000 km/h Train [2]

[NO.6] Unit 10 Bringing Buildings to Life: Smart Houses [1]

[NO.7] Unit 10 Bringing Buildings to Life: Smart Houses [2]

[NO.8] Unit 12 Your Mother Was Wrong: The Benefits of Video Games [1]

[NO.9] Unit 12 Your Mother Was Wrong: The Benefits of Video Games [2]

[NO.10] Unit 13 Innovative Classrooms: Sounds and Smells for Learning [1]

[NO.11] Unit 13 Innovative Classrooms: Sounds and Smells for Learning [2]

[NO.12] Unit 14 A Connected World: The Rise of Bluetooth [1]

[NO.13] Unit 14 A Connected World: The Rise of Bluetooth [2]

[NO.14] これまでの復習／ Essay Writing

[No.15] 期末課題に取り組む

準備学習（予習・復習）：事前学習：テキストの指定箇所を予習（1 時間以上）／事後学習：授業内容の確認；英字新聞・雑誌を読んでみる（1 時間以上）

授業形態：講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：期末試験(60%)、授業ノート提出(30%)、課題(10 %)の合計で成績を評価します。

教科書：『Innovation and Technology ―未来を見つめる科学英語』David Rear・印南洋・川口恵子・村上嘉代子著(南雲堂)

B 組 2 班・C 組 1 班 岡部 了也(非常勤講師)

本授業では、様々な内容に関する英文新聞記事を読むことにより、英語で書かれた文章を正確に読み取る訓練を行う。テ

キストは、政治、環境、テクノロジー、スポーツといった幅広いテーマに関するニュース記事とそれに関連した練習問題から構成される。授業中は、文章の読解および練習問題を通して、様々な分野に関する語彙、イディオム等の表現および文法知識の拡充を図る。この授業では、テキストの後半の Chapter 8 から Chapter 14 までを取り上げる予定である。

[No. 1-2] News 8: Concern over crime grows in Japan as cases rise for third straight year

[No. 3-4] News 9: Trump is acting like it's his choice whether he obeys the Constitution

[No. 5-6] News 10: 2024 was the hottest year on record, breaching a critical climate goal and capping 10 years of unprecedented heat

[No. 7-8] News 11: Japan extends life of nuclear reactors beyond 60 years

[No. 9-10] News 12: Children 14 years old and under now make up less than 12% of this country's population

[No. 11-12] News 13: Google's DeepMind CEO says there are bigger risks to worry about than AI taking our jobs

[No. 13-14] News 14: Hakuho's departure highlights worrying sumo trend

[No. 15] これまでの復習

準備学習（予習・復習）：予習：文章中の知らない単語や成句等の表現を調べ、ある程度文章の内容を理解しておく。また、練習問題に関しては、答えを考えておく。(1 時間)/復習：授業中に確認した単語・表現や文法事項、練習問題の解答等を再度確認し、文章の内容に関し理解を深めておく。(1 時間)

授業形態：講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：期末試験の成績(100%)で評価する

教科書：『English for Mass Communication - 2026 Edition -』堀江洋文 他著(朝日出版社)

C 組 3 班 中野 里美(非常勤講師)

国内外のニュース記事を読み、語彙、文法、構文、表現に注意して精読し、高度な内容の英文に慣れることを目的とします。なおかつ、大学生として知っておくべき世の中の情勢にも目を向け、情報を得て、興味の範囲を広げていくことを目標とします。進度として、後半から使用しますので、初回に進度などを説明します。

[No.1] introduction

[No.2] Sites urge Australian to delay child ban

[No.3] Thanks to Ohtani, MLB Enjoys Huge Success in Japan and Momentum for 2025

[No.4] Japan's Nihon Hidankyo Wins Nobel Peace Prize

[No.5] More countries, including China, grapple with shrinking, aging populations

[No.6] That's my bike! Vigilantes fight back as theft rises, faith in police plummets

[No.7] 45.7% in Japan poll think asking store employees to smile is harassment

[No.8] Cook Islands give detail of China deal that upset close partner New Zealand

[No.9] Indonesia showcases returned artifacts it sought for decades from Netherlands

[No.10] Africa must act to stem youth brain drain as economies continue to suffer

[No.11] Odor-Detecting Drone Uses Silkworm Moth Antennae for Disaster Rescue

[No.12] How Japan is looking deep underground to solve its carbon problem

[No.13] Stampede at religious event in India kills 100 +

[No.14] Over a dozen dead at Hindu festival

[No.15] まとめ

準備学習（予習・復習）：予習：事前に注を参考に読み進めておき、分からない箇所がないか調べておきましょう。分からない箇所は授業で疑問解消していきましょう。(1 章ごとに約 30 分前後)

復習：資格試験などを今後、受験する際には問題として使用される語彙や内容も出てきます。それを意識して自分が活用することを想定して内容を見直したり、さらに調べたり、覚えたりしていきましょう。(1 章ごとに約 30 分前後)

授業形態：課題解決型学習、講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：課題(レポート、試験等)のフィードバックについて：講義や定期試験に関する質問等を個別に受け付け、解説・説明をする。

成績評価方法：平常点(30%：ウォーミングアップとして授業冒頭に配布する TOEIC reading、テキスト内の Multiple Choice、True or False の問いや、こちらからの質問に答える)、期末試験の成績(70%)で評価します。

教科書：English through the News Media 2026 Edition by Asahi Press

(ISBN:978-4-255-15748-1) テキストは必ず購入してください

参考書：あれば授業内で紹介するか、プリントを配布します。

その他：不明な点がありましたら質問して下さい。

S 組 1 班 杉本 悠(非常勤講師)

本授業では、社会、芸術、科学などさまざまなトピックを扱う最新の教材を用い、ある程度まとまった量の英文(500 語程度)を正確に、速く読む訓練を行う。また単なる文章理解だけでなく、教科書に基づいた演習問題を通じて語彙や文法も含めた総合的な読解力の涵養を図る。2 回で 1 単元のペースで進み、2 週に 1 度、それまで読んだ文章の内容を簡単に要約してもらう。学生には、文章の音読や質問への解答、文法事項の確認など、積極的な授業参加を求める。

[1] Introduction

[2-3] Unit 8 Spending a Fortune < Entertainment >

[4-5] Unit 9 Wonders of the Deep < Nature >

[6-7] Unit 10 Product Placement < Business >

[8-9] Unit 11 White-Collar Crime < Law and Crime >

[10-11] Unit 12 Working Disabled < Social Issues >

[12-13] Unit 13 Pet Therapy < Healing >

[14-15] Unit 14 Quantum Computers < Science and Technology >

準備学習（予習・復習）：予習: わからない単語や文法について事前に調べ、教科書にメモしておく (30-40 分)。

復習: 授業で読んだ範囲をもう一度読み直し、簡単に要約して概要を把握しておく (30 分)。

授業形態：講義

課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法：小テスト (15%)、課題 (15 %)、期末試験 (70 %)

教科書：Benett, Andrew E. Reading Fusion 1, 2nd Edition. 南雲堂, 2025.